

水いぼ・とびひについてのお知らせ(お願い)

平素より、園の活動には、ご協力・ご理解いただきありがとうございます。
これからの季節プール、水、泥遊びが盛んになります。水いぼ・とびひに関してのお願いを下記にまとめましたので、必ず読みご確認いただきますようお願いいたします。個々によって、症状は違うのでご不明点がありましたら、お気軽に園にご相談ください。

水いぼに感染している場合

水いぼは必ずしも取らなくてはいけない病気ではありませんが、水いぼは放置して置くと必ず増えます。治療方法はご家庭や病院によって様々だと思いますが、症状が軽いうちに受診して下さい。治療方法は医師と相談の上保護者の方の判断におまかせしております。

- 軽度の場合は、プール、水、泥遊びに参加出来ます。

水いぼは、一般的にはプールの水を介して感染しないと言われプールに入れると言われていました。しかし、当園のプールの大きさを考えますと皮膚の露出によりプール内で子ども同士の皮膚が接触する可能性が非常に高く感染が起こりやすいのが現状です。

園は集団生活の場なので「うつったり」「うつされたり」等の感染を最小限に抑える必要がある為水いぼがある時は、患部を絆創膏又は防水された絆創膏で保護して下さい。水、泥遊びも同様です。患部が広範囲にあり保護しきれない場合は、ラッシュガードを着用することも可能です。

(例)



※ 替えの絆創膏又は防水された絆創膏を持たせて下さい。

- 軽度を越えた場合

プールは中止させていただきますが、水、泥遊びには参加できます。その場合も子ども同士接触する可能性がありますので患部を保護して下さい。

とびひに感染している場合

とびひは、細菌による皮膚の感染症です。感染するとあっという間に広がります。心当たりがあればすぐに病院に受診してください。その際に必ず医師に、プール、水、泥遊びに参加できるか確認してください。

- 医師の許可があればプール、水、泥遊びに参加出来ます。

傷口を絆創膏又は防水された絆創膏で保護して下さい。水、泥遊びも同様です。

※ 替えの絆創膏又は防水された絆創膏の用意をお願いします。

- 軽度を越えた場合(傷口がグジュグジュしている)

症状を悪化させてしまうので、プール、水、泥遊びを中止させていただきます。